

令和元年10月25日（金）

今年は早くもインフルエンザが流行し始めています。本校でも風邪気味の子どもや教員が少しずつ見られるようになっていきます。

先週から感染予防のために、養護教諭が学級ごとに手洗い指導を行っています。今日は、小学部6年1組が指導を受けていました。ばい菌に見立てた蛍光塗料を手に塗った後、いつものとおりに手を洗い、ブラックライトにかざして洗い残しの箇所をチェックしてもらいます。ほとんどの子どもの手の手甲、手首、親指、指の間が白く光っていました。

その後、正しい手の洗い方の手順を見て洗い直しをしていましたが、それでも1度では合格せず、光らなくなるまで何度も洗い直していました。

感染予防には、うがいより手洗いが大事とも言われています。チェックされない時も、丁寧に手を洗うことを習慣にしましょうね。

